

## 第5回健康食品機能性表示検討委員会議事録

開催日時：2014年3月6日（木）14時～16時

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3階 真珠の間

出席者：アピ(株)古川様、イワキ(株)合川様、オルト(株)田中様、香栄興業(株)佐々木様、(株)光洋  
商会牛久様、興和(株)小佐々様、三生医薬(株)住吉様、(株)トンボ飲料翠田様、フォーデイズ(株)  
中川様、福田龍(株)有村様、ミナト製薬(株)小島様

日本栄養評議会：臼杵理事長、廣田理事

委員会担当理事：橋本理事、田中理事、陣野（文責）

### 議事内容

#### 【理事長挨拶】

（一社）日本栄養評議会（CRN JAPAN）臼杵理事長より、日本を取り囲む諸外国の食品機能性表示に関する動きの説明を受ける。

又、業界団体として日本の健康食品産業の実態を判断し、当委員会での活発な議論をお願いしたい旨話があった。

#### 【食品機能表示の合理的根拠となる素材情報保有に関するアンケートに関して】

この度、行われたアンケートに関し事務局で集計を行い結果報告・説明を行った。

- \* 田中委員長より、アンケート結果より機能性の評価をRCTに限った場合、4%しか規制改革の恩恵を受けることができず、結果として消費者自身による判断の基準拡大に繋がらず、産業の発展にもならない旨の説明が行われた。

当アンケート結果について、3月14日に行われる産業協議会専門部会へ提示する事となる。

（当委員会での了解を得る）

#### 【抗加齢学会および産業協議会の取り組み状況報告】

日本栄養評議会では本件の担当を行っている廣田理事より報告と説明が行われた。

その中で、今回消費者庁より提示された、「健康食品を含め機能性表示を行う食品に対し、関与成分を明らかにした上で安全性の確保を求めていく」とのコメントを受け、委員会委員に対し意見を頂く。

- \* 全体的なコメントとしては、「現状の健康食品原材料に関し、関与成分が明確な原材料は少なく、特保の延長線的な考え方ではないのか？」「安全性に関して、すでに厚生労

働省からガイドラインが提示されている。」等のコメントを頂く。

**【第6回委員会の開催】**

- ・第6回は4月2日に開催する。
- ・第6回は「食品の機能性表示に関する事務局案」の今後の運営について協議を行う。

以上